

## 第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 第2 各学年の目標及び学習内容等

### 第1学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

### 第1学年【年間授業時数 45 時間】

	題材名（時数）◎目標	学習活動	評価規準
1 学 期	<b>思いを込めて歌おう</b> <b>(10)</b> <b>歌唱</b> 「校歌」 「We'll Find The Way」 ◎思いを込めて明るい声で歌おう。  「浜辺の歌」 ◎情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、歌詞の内容や曲想に関心をもつ。 ・音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、休符の取り方、身体の使い方などの技能を身に付ける。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 [態] ※ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	<b>音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべて聴こう (3)</b> <b>鑑賞</b> 「春」 ・ソネットと音楽との関わりや、音楽の形式を理解して鑑賞する。 ・旋律やテクスチュア、強弱などから独奏ヴァイオリンと合奏による表現を聴き取る。	・曲に関心をもつ。 ・曲想と楽器の音色（弦楽合奏とチェンバロの響き）、旋律、形式（リトルネッロ形式）との関わりについて理解する。 ・楽器の音色（弦楽合奏とチェンバロの響き）、旋律、テクスチュア（音の重なり）、強弱、形式（リトルネッロ形式）を知覚・感受し、演奏楽器に対する効果とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [思] 音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、演奏楽器に対する効果とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [態] ※ 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	<p>パートの役割を感じ取って合唱しよう (3)</p> <p><b>歌唱</b></p> <p>「Let's search for tomorrow」</p> <p>◎変声について理解し、へ音譜表との関わりを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解する。</li> <li>・主旋律のみの歌唱と混声三部合唱を聴き比べ歌唱することで、テクスチュアについて理解する。また、旋律、テクスチュア、強弱等の音楽を形づくっている要素と歌詞の内容が生み出す雰囲気について理解する。</li> <li>・全体の響きや各声部の声を聴きながら表現を創意工夫する。</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
2学期	<p>混声合唱へのステップ 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう (12)</p> <p><b>歌唱</b></p> <p>合唱コンクールの曲</p> <p>◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</li> <li>・速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</li> <li>・創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。(2)</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>「魔王」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語と曲のかかわりを感じ取って鑑賞する。</li> <li>・声、ピアノ伴奏、リズムなどの変化を聴き取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や詩の内容との関わりに関心をもち。</li> <li>・演奏を聴き、音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。</li> <li>・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。</li> <li>・音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、曲に込められた作曲者の思いを味わって聴く。</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] ※曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>日本の歌の良さを感じ取って歌唱表現を工夫しよう(3)</p> <p><b>歌唱</b></p> <p>「赤とんぼ (心の歌)」</p> <p>◎歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、歌詞の内容や曲想に関心をもち。</li> <li>・旋律の動きや強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰</p>

	感じ取って歌唱表現を工夫する。	って音楽表現を工夫する。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方（呼吸法）などの技能を身に付ける。	囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 [態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	<b>和楽器に触れて日本音楽の良さを知ろう</b> <b>器楽</b> 「箏の演奏」(5) ◎日本音楽に触れ、和楽器の仕組み音色を知覚する。	・日本音楽の中の箏や三味線に触れ、独特な音色を感受する。 ・実際に楽器に触れることで演奏するための奏法。表現活動の様々な技法を習得する。 「さくらさくら」の歌詞の言葉のリズムやテクスチュアとの関わりを感じとり、役割を生かした演奏ができるよう工夫する。	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと合わせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った奏法の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 [思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚と感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作っていくか意図をもっている。 [態] ※日本独特な音の構成、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
3 学 期	<b>アジア諸民族の音楽 (3)</b> <b>鑑賞</b> アジア各国の音楽を聴こう。 「各国の音楽と楽器」	・アジア各国の諸民族音楽を味わって鑑賞する。 ・ワークシートやプリントを使って楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素などを知覚する。 ・学びからレポートを作成し、自ら関心の高い楽器について調べ、知ることによって理解を深める。	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術と関わりについて理解している。 [態] ※曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、味わって聴いている。
	<b>混声合唱へのステップ (4)</b> ～様々な曲想の表現～ <b>歌唱</b> 卒業式の歌 ◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ・創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] 音色、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 [態] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。